

- 問1 江戸時代中期、幕府は長崎における中国（清）との貿易において、来航する船の数や貿易額に制限を設けました。このような制限を行った背景として最も適切な理由はどれですか。（2024年 熊本県公立入試 類似）
- 貿易の決済手段として使われていた金・銀・銅の海外流出を防ぐため
 - 中国船がキリスト教の宣教師を日本へ密航させていることが発覚したため
 - 中国から伝来する儒学の思想が幕府の支配体制を脅かすと考えたため
 - 国内の農業技術が向上し、中国から農産物を輸入する必要がなくなったため
- 問2 江戸幕府が鎖国体制を築く中で、長崎の出島に商館を置くことを認め、ヨーロッパの国の中で唯一貿易を継続した国はどこですか。（2021年 長野県公立入試 類似）
- フランス
 - スペイン
 - ポルトガル
 - オランダ
- 問3 江戸幕府の3代将軍徳川家光は、初代将軍徳川家康を神として祀るため、ある神社の社殿を大規模に造り替え、漆や金箔、精巧な彫刻を多用した豪華絢爛な姿へと一新させました。この建物の名称を次の中から選びなさい。（2016年 山形県公立入試 類似）
- 鹿苑寺金閣
 - 東大寺大仏殿
 - 日光東照宮
 - 慈照寺銀閣
- 問4 戦国時代の混乱を終結させ、長きにわたる平和な江戸時代を築いた徳川家康が、幕府を開くために行った政治的な背景や仕組みとして最も適切な説明を選択してください。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）
- 豊臣秀吉の制度をすべて廃止し、全国の土地を全て幕府の直轄地とすることで、大名の反乱を物理的に不可能にした。
 - 関ヶ原の戦いで石田三成を倒した後、朝廷から関白に任命されることで、天皇に代わって全ての政治を行う権利を得た。
 - 朝廷から征夷大將軍に任命されることで、全国を支配する法的・権威的な根拠を得て、江戸に政治の拠点を置いた。
 - 有力なキリスト教大名を保護することで、西洋諸国との直接貿易を独占し、その経済力を背景に全国を統治した。
- 問5 江戸時代後半、幕府の命令を受けて日本全国の沿岸部を実際に歩いて測量し、西洋の科学的な手法を取り入れることで、当時の世界水準に匹敵する極めて精巧な日本地図を完成させた人物は誰ですか。（2022年 徳島県公立入試 類似）
- 本居宣長
 - 間宮林蔵
 - 杉田玄白
 - 伊能忠敬
- 問6 江戸時代の大阪が「天下の台所」として繁栄した背景として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 島根県公立入試 類似）
- 幕府が、江戸の食料不足を解消するために、全ての物資を一度大阪に集めるよう命令を出したから。
 - 鎖国体制下において、大阪が唯一の海外貿易の窓口として外国の特産物を独占的に扱ったから。
 - 将軍が住む江戸の人口が急増したため、大阪の特産物を全て幕府が買い上げて江戸へ送ったから。
 - 諸大名が、参勤交代などで必要となる現金を調達するため、蔵屋敷に物資を集めて商人に売却したから。
- 問7 江戸時代に杉田玄白らによって『解体新書』が翻訳された際、その原著は「オランダ語」で書かれていました。当時、日本において西洋の学問が主にオランダを通じて学ばれた歴史的な背景として、最も適切な説明を選んでください。（2016年 長野県公立入試 類似）
- 鎖国体制下において、幕府が唯一の西洋の貿易相手国として交流を認めていたのがオランダであったため
 - 明治維新以降、政府がドイツの医学制度を導入するまでの間、イギリスが日本の外交を独占していたため
 - キリスト教の布教を目的として来日したオランダ人宣教師が、各地に学校を建てて教育を広めていたため
 - 江戸時代初期から続く朱印船貿易において、オランダが最大の貿易拠点として東南アジアを支配していたため
- 問8 松平定信が、幕府の役人の規律を正し、思想的な統一を図るために行った学問に関する政策として、正しいものはどれですか。（2014年 沖縄県公立入試 類似）
- 西洋の進んだ医学や天文学を学ぶため、オランダ語による蘭学の研究を幕府の公認とした。
 - 全国の藩校や寺子屋に対して、身分に関わらず共通の教科書を用いるよう義務付けた。
 - 古事記などの古典を研究することで日本古来の精神を尊ぶ国学を、幕府の公式な学問として採用した。
 - 聖堂学問所（昌平坂学問所）において、朱子学以外の講義や研究を禁止する寛政異学の禁を行った。
- 問9 江戸時代の長崎では、外国人の居住や行動が制限されていましたが、特定の場所を通じて高度な文化や学問が伝えられました。その実態について述べた文として、正しいものを次のうちから選びなさい。（2025年 神奈川県公立入試 類似）
- 出島にいたオランダ人は、幕府の許可なく自由に日本国内を旅して西洋文化を広めた。
 - オランダ商館医であったシーボルトは、制限された環境下で日本人に医学教育を行った。
 - 中国人は長崎の町中に自由に住むことが許され、町民と日常的に交流していた。
 - キリスト教の布教を目的とした宣教師が、長崎を拠点に西洋の天文学を広く教えた。
- 問10 五街道の一つである中山道の坂本宿（現在の群馬県）のように、参勤交代における大名行列の移動を支えるインフラとして、幕府が街道沿いに計画的に整備した町を何と呼びますか。（2016年 群馬県公立入試 類似）
- 寺内町
 - 門前町
 - 宿場町
 - 城下町
- 問11 江戸時代の交通網の整備と庶民文化の広がりについて述べた文として、当時の社会状況を正しく説明しているものを次の中から選びなさい。（2021年 神奈川県公立入試 類似）
- 文明開化により鉄道が全国に敷設されたことで、物資の流通が飛躍的に向上し、都市部を中心に西洋風の庶民文化が急速に広まった。
 - 遣隋使の派遣によって大陸の進んだ交通制度が導入され、都を中心とした主要道路が整備されたことで、貴族的な文化が全国へ波及した。
 - 参勤交代の制度によって街道や宿場が整えられたことで、庶民の間でも旅や娯楽を楽しむ余裕が生まれ、風景画などの文化が発展した。
 - 勘合貿易の実施によって大陸から新しい文化や物資が流入し、これらを背景に浮世絵などの新しい芸術様式が庶民の間で確立された。
- 問12 江戸時代の農業において、収穫作業を効率化させ、生産量の増大に寄与した技術的背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2018年 鳥取県公立入試 類似）
- 「千歯扱き」と呼ばれる農具が登場したことで、それまでの扱竹（こきだけ）に比べて脱穀作業の効率が飛躍的に高まった。
 - 「惣村」と呼ばれる自治組織が、高床倉庫を共同管理することで、収穫した米の長期保存と安定供給を実現した。
 - 「口分田」の制度を廃止して農地の私有化を認めたため、農民が自発的に灌漑用水路を整備するようになった。
 - 「石包丁」が改良されて全国に普及したことで、一度に大量の稲を収穫することが可能になった。
- 問13 日本の歴史における各時代の文化や社会状況について述べた説明のうち、奈良時代の事柄として最も適切なものはどれですか。（2026年 新潟県公立入試 類似）
- 邪馬台国の女王である卑弥呼が中国の魏に使いを送り、本格的な稲作が全国に広まった。
 - 後鳥羽上皇が幕府を倒そうとして承久の乱を起こし、浄土宗などの新しい仏教が広まった。
 - 平城京が都として建設され、地方の産物や伝承などを記録した「風土記」がまとめられた。
 - 幕府が諸大名を統制するために武家諸法度を定め、町人の間では浮世絵などの文化が栄えた。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 貿易の決済手段として使われていた金・銀・銅の海外流出を防ぐため	中国（清）からは主に生糸や書籍などが輸入されましたが、その代金として当時の日本は金、銀、銅を支払っていました。これら貴金属の大量流出による国内資源の枯渇を懸念した幕府は、新井白石が制定した「海舶互市新例」などによって貿易量を制限しました。
問2	答え 4 オランダ	幕府はキリスト教の布教を警戒し、1639年にポルトガル船の来航を禁止しました。1641年にはそれまで平戸にあったオランダ商館を出島に移し、オランダを唯一のヨーロッパの貿易相手国と定め、情報の収集と貿易の管理を行いました。
問3	答え 3 日光東照宮	徳川家光は、祖父である家康を「東照大権現」として崇拜し、家康を祀る日光東照宮を現在の壮麗な姿へと改築しました。これは幕府の圧倒的な財力と権威を国内外に示す象徴的な建築物となり、江戸時代初期の文化を代表する遺構の一つです。
問4	答え 3 朝廷から征夷大將軍に任命されることで、全国を支配する法的・権威的な根拠を得て、江戸に政治の拠点を置いた。	家康は武力で全国を制圧しただけでなく、伝統的な権威を持つ朝廷から征夷大將軍という官職を授かることで、全国の大名を統制するための正当性を確保しました。これにより、軍事的な勝利を政治的な安定へとつなげ、江戸を拠点とする長期的な支配体制を構築しました。
問5	答え 4 伊能忠敬	50歳を過ぎてから天文学や測量術を学んだこの人物は、1800年から約17年をかけて全国を測量しました。作成された「大日本沿海輿地全図」は、当時の幕府が国防上の理由から正確な海岸線を把握する必要があったために命じられたものです。選択肢の間宮林蔵は樺太（サハリン）が島であることを確認した人物、杉田玄白は『解体新書』を著した人物です。
問6	答え 4 諸大名が、参勤交代などで必要となる現金を調達するため、蔵屋敷に物資を集めて商人に売却したから。	大名は参勤交代や領国経営のために多額の現金を必要としましたが、当時は年貢（米）が経済の基盤でした。そのため、物流の要所であった大阪に設置した蔵屋敷に米や特産物を集め、そこで活動する「札差」や「両替商」などの有力な商人を介して換金する必要がありました。この仕組みが全国的な物流ネットワークを形成し、大阪を商業の中心地に押し上げました。
問7	答え 1 鎖国体制下において、幕府が唯一の西洋の貿易相手国として交流を認めていたのがオランダであったため	幕府はキリスト教の布教を防ぐため、1639年にポルトガル船の来航を禁止しましたが、貿易のみを目的とするオランダには長崎の出島での居住と貿易を認めました。このため、当時の日本にとって西洋の新しい知識や技術、文化を得るための唯一の窓口がオランダであり、西洋の学問そのものが「蘭学」と呼ばれるようになりました。
問8	答え 4 聖堂学問所（昌平坂学問所）において、朱子学以外の講義や研究を禁止する寛政異学の禁を行った。	松平定信は、儒教の中でも特に上下の秩序を重視する「朱子学」を幕府の正学と決めました。これに基づき、聖堂学問所（のちの昌平坂学問所）での朱子学以外の講義を禁じたのが「寛政異学の禁」です。これは武士の資質向上と体制の安定を目的とした思想統制の一環でした。
問9	答え 2 オランダ商館医であったシーボルトは、制限された環境下で日本人に医学教育を行った。	江戸時代の長崎では、オランダ人は出島、中国人は唐人屋敷に居住が制限されていました。しかし、オランダ商館医として来日したシーボルトは、郊外に鳴滝塾を開くことを許され、そこで多くの日本人門下に西洋医学を教えるなど、制限された環境の中でも重要な文化・学問の交流が行われました。一方で、キリスト教は厳禁されており、宣教師の活動はこの時期には認められていません。
問10	答え 3 宿場町	参勤交代による大規模な行列の移動を円滑に行うため、幕府は五街道を整備しました。街道沿いには宿泊施設や荷物運搬の拠点を備えた宿場（宿場町）が置かれ、大名が泊まる「本陣」や「脇本陣」などが設けられました。これは単なる交通の拠点ではなく、幕府が全国の大名を統制し、情報や物資の流通を管理するための重要な制度的枠組みでした。
問11	答え 3 参勤交代の制度によって街道や宿場が整えられたことで、庶民の間でも旅や娯楽を楽しむ余裕が生まれ、風景画などの文化が発展した。	江戸幕府は大名に江戸と領地を往復させる参勤交代を義務付けたため、五街道などの主要道路や、宿泊施設が並ぶ宿場町が急速に整備されました。この交通インフラの向上は、経済の活性化とともに庶民の移動を容易にし、伊勢参りなどの観光を目的とした旅の文化を育みしました。歌川広重の「東海道五十三次」などの作品は、こうした社会背景の中で広く親しまれ、各地の様子を伝えるメディアとしての役割も果たしました。他の選択肢は、明治時代（鉄道）、室町時代（勘合貿易）、飛鳥・奈良時代（遣隋使）の内容であり、江戸時代の背景とは合致しません。
問12	答え 1 「千歯扱き」と呼ばれる農具が登場したことで、それまでの扱竹（こきだけ）に比べて脱穀作業の効率が飛躍的に高まった。	江戸時代には元禄文化の頃を中心に農業技術が大きく発展し、千歯扱きの普及によって脱穀の効率が劇的に改善されました。石包丁や高床倉庫は弥生時代、口分田は律令制（古代）、惣村による水路管理などは主に中世の特徴であり、時代背景が異なります。
問13	答え 3 平城京が都として建設され、地方の産物や伝承などを記録した「風土記」がまとめられた。	奈良時代は、平城京を中心に律令国家の仕組みが整えられた時期です。この時代には、天皇の命によって各国の地理や産物、伝承などを記録した報告書である「風土記」が編纂されました。他の選択肢について、邪馬台国や稲作は弥生時代、承久の乱や新しい仏教の普及は鎌倉時代、武家諸法度や浮世絵は江戸時代の事柄であり、時代が異なります。